YAMAHA

DIGITAL PIANO

P-45

取扱説明書

準備編

本編

資料

ご使用の前に必ず5～7ページの「安全上のご注意」をお読みください。

オートパワーオフ機能

この楽器には、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能が搭載されています。オートパワーオフ機能とは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。
詳しくは10ページをご覧ください。

JA

もくじ

こんなことができます 3
取扱説明書について 4
付属品(お確かめください) 4
安全上のご注意 5

準備編

各部の名前と機能 9

ご使用前の準備 10

電源の準備 10
電源を入れる/切る 10
オートパワーオフ機能 10
音量を調節する 11
鍵盤の操作音を設定する 11
ヘッドフォンを使う 11
フットスイッチ/フットペダルを使う 11

本編

音色を選んで弾く 12

音色を選ぶ 12
2つの音色を重ねる(デュアル) 12
二人で一緒に弾く(デュオ) 13
音に残響を付ける(リバーブ) 13
タッチ感度を変える 14
キー (調)を変える(トランスポーズ) 14
音の高さを微調整する(チューニング) 15

曲(ソング)を再生する 16

音色デモ曲を聞く 16
ピアノ曲を聞く 16

メトロノームを使う 17

拍子の設定 17
テンポ設定 17
メトロノームの音量の設定 17

他の機器と接続する 18

iPhone/iPadと接続する 18
コンピューターと接続する 18
MIDIの設定 18

バックアップと初期化 19

資料

困ったときは 20

仕様 20

索引 21

クイックオペレーションガイド 22

こんなことができます

◆グレードハンマースタンダード(GHS)鍵盤を搭載。アコースティックピアノを弾いているような、本格的なピアノ演奏が楽しめます。

◆ピアノの名曲10曲を内蔵。BGMとして鑑賞できます(→16ページ)。

◆操作はとても簡単。[GRAND PIANO/FUNCTION] を押したまま、該当の鍵盤を押すだけで設定できます。鍵盤への割り当ては22ページをご覧ください。

ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器の優れた機能を十分に活かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

冊子マニュアル

取扱説明書(本書)

クイックオペレーションガイド（22ページ）
ボタンや鍵盤に割り当てられた機能の一覧表です。

電子マニュアル（PDF形式）

iPhone/iPad接続マニュアル
この楽器をiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

コンピューターとつなぐ
この楽器とコンピューターを接続する方法などを説明しています。

MIDIリファレンス
この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。

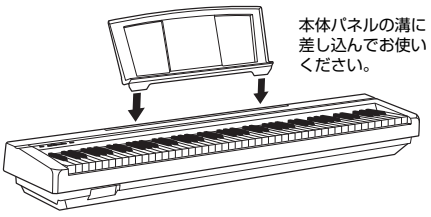
MIDI入門
MIDIについての基礎知識を説明しています。

上記マニュアルは、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、モデル名を入力して検索してください。

ヤマハ　ダウンロード　https://download.yamaha.com/jp/

付属品(お確かめください)

- □ 取扱説明書(本書)
- □ 保証書
- □ フットスイッチ
- □ 電源アダプター
- □ 製品ユーザー登録のご案内
  * ユーザー登録の際に必要となるプロダクトIDが記載されています。
- □ 譜面立て



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

⚠ ⚡	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
🛇 🔧 📦 ✋	～しないでくださいという「禁止」を示します。
❗ ⏚ 🔌	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源アダプターについて

⚠ 警告

禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。
電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。

禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外及び水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

⚠ 注意

必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

電源 / 電源アダプター

禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (20ページ)を使用する。
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

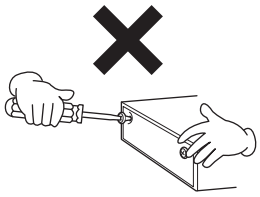
必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

分解禁止

禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意

禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意

禁止

本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら

必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグがいたんだ場合
- 製品から異常なにおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

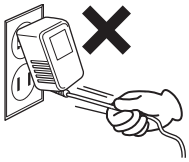
電源 / 電源アダプター

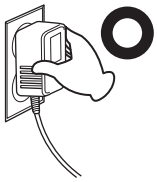
禁止

たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。





必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置

禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続

必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。
感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。
聴力障害または機器の損傷の原因になります。

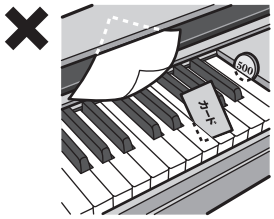
取り扱い

禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。
[⏻](スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (電源ランプが消えている) でも微電流が流れています。[⏻] (スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/ 変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(19ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
  * 上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
  * 上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 調律について

- 調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

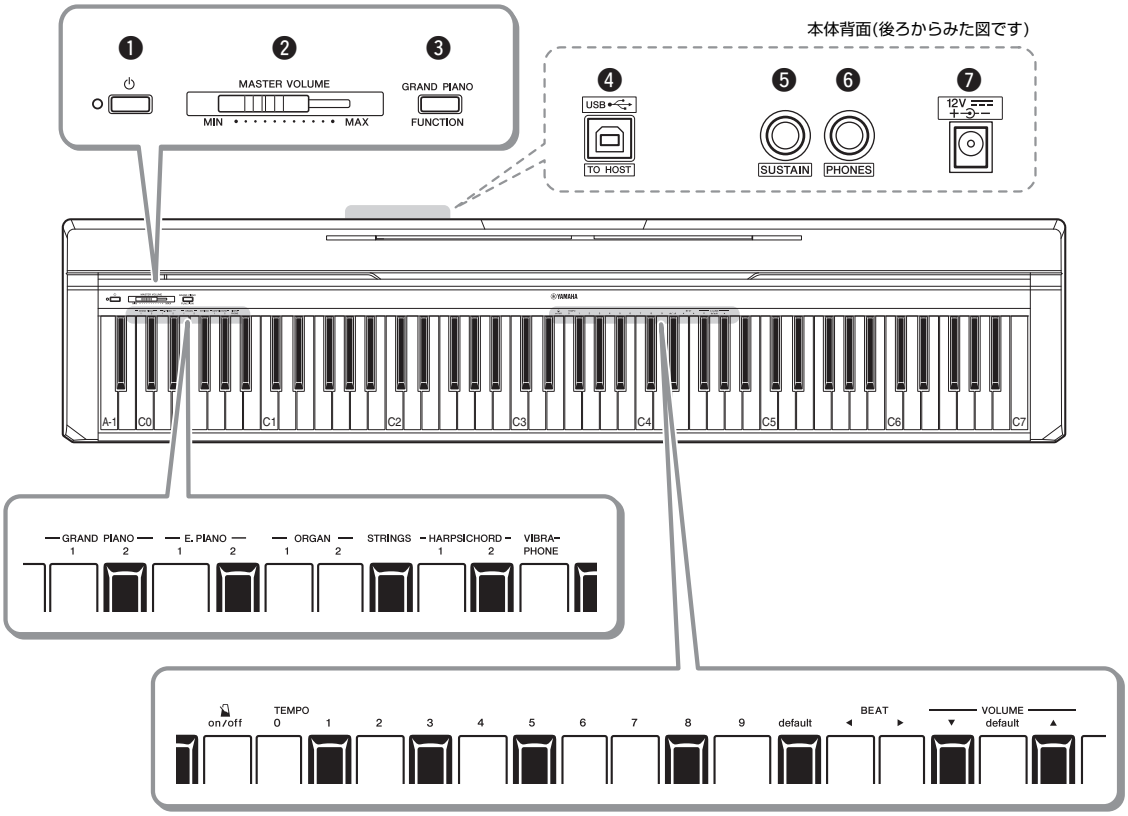
機種名 _____

製造番号 _____

(bottom_ja_02)

DMI-6 4/4

各部の名前と機能



❶ [⏻](スタンバイ/オン)スイッチ.....10ページ
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

❷ [MASTER VOLUME(マスターボリューム)]スライダー.....11ページ
音量を調節します。

❸ [GRAND PIANO(グランドピアノ)/FUNCTION(ファンクション)]ボタン.....12ページ
グランドピアノ1の音になります。

機能設定(FUNCTION)
ボタンを押しながら、指定した鍵盤を押すことにより、いろいろな設定ができます。

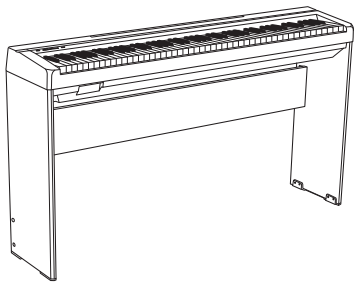
❹ [USB TO HOST(ユーエスビー トゥ ホスト)]端子.....18ページ
コンピューターやiPhone、iPadなどのスマートデバイスと接続します。

❺ [SUSTAIN(サステイン)]端子.....11ページ
付属のフットスイッチや、別売のフットスイッチ/ペダルを接続します。

❻ [PHONES(フォーンズ)]端子.....11ページ
ヘッドフォンを接続します。

❼ DC IN端子(12V ⎓)).....10ページ
付属の電源アダプターを接続します。

専用スタンド

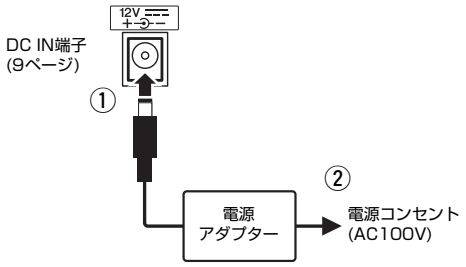


この楽器のスピーカーは底面(鍵盤裏側)に装備されています。机やテーブルに置いても演奏はできますが、より良いサウンドをお楽しみいただくためにも、別売の専用スタンドを使うことをおすすめします。

ご使用前の準備

電源の準備

図の順序で電源アダプターを接続します。



⚠警告

- **電源アダプターは、必ず指定のもの(20ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。**

⚠注意

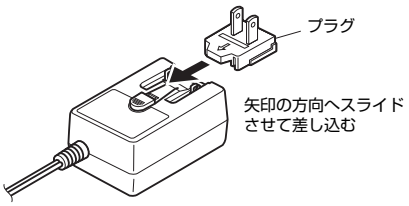
- **電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

NOTE

- 電源アダプターを外すときは、[⏻](スタンバイ/ オン)スイッチを切ってから、逆の手順で行なってください

プラグ部分が外れるタイプの電源アダプターの場合

電源アダプターのプラグは外さないでください。外れてしまった場合は、内部の金属部分に手を触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。

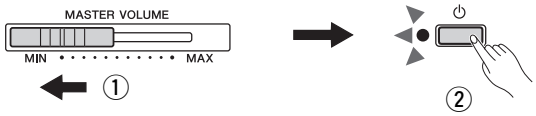


⚠警告

- **電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。**
- **プラグを取り付ける際、内部の金具部分は触らないでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。**

電源を入れる/切る

① 音量を最小にします。
② [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



電源が入ると、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ左の電源ランプが点灯します。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

⚠注意

- **電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。**

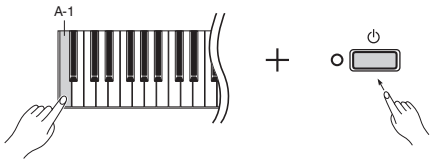
オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が15分操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源を自動的に切りたくない場合は、以下の手順でオートパワーオフ機能を無効にしてください。

オートパワーオフ機能を無効にする

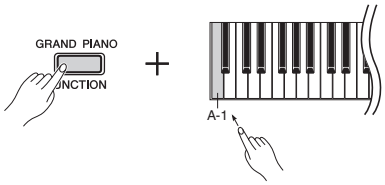
楽器の電源が入っていない場合

A-1(左端の鍵盤)を押したまま[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。電源ランプが3回点滅し、オートパワーオフ機能が無効になります。



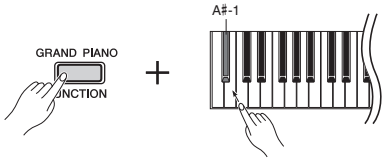
楽器の電源が入っている場合

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままA-1(左端の鍵盤)を押します。



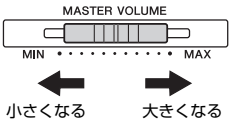
オートパワーオフ機能を有効にする

電源が入っている状態で、[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままA#-1鍵盤を押します。



音量を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、本体パネル左の[MASTER VOLUME]スライダーで音量を調節します。



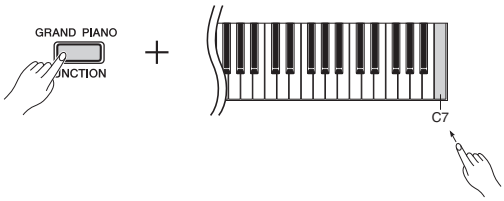
鍵盤の操作音を設定する

この楽器では、ボタンと鍵盤を使っていろいろな設定ができ、設定時には操作音が鳴ります。
操作音は3種類(オン、オフ、その他の設定)ありますので、音の違いで操作を確認できます。
ボタンと鍵盤に割り当てられた機能については、22ページのクイックオペレーションガイドをご覧ください。

操作音のオン/オフの設定

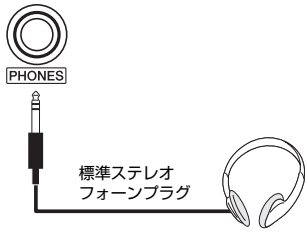
操作音はオン(鳴らす)/オフ(鳴らさない)を設定できます。
[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままC7鍵盤を押します。C7鍵盤を押すたびにオン/オフが切り替わります。

初期設定：オン



ヘッドフォンを使う

別売のヘッドフォンを[PHONES]端子に接続して使います。ヘッドフォンを接続すると自動的にスピーカーから音が出なくなります。



⚠注意

- **大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。**

フットスイッチ/フットペダルを使う

付属のフットスイッチを[SUSTAIN]端子に接続することで、ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。また、別売のフットペダルFC3A、フットスイッチFC4A、FC5も接続できます。FC3Aではハーフペダル機能が使えます。

ハーフペダル機能

ペダルを踏んだ際、音が響きすぎる場合にペダルを踏み込んだ状態から少し戻すことで響きを抑える機能です。

NOTE

- フットスイッチ/フットペダルを踏んだまま楽器の電源を入れないでください。フットスイッチ/フットペダルのオン/オフが逆転します。
- フットスイッチ/フットペダルのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行なってください。

音色を選んで弾く

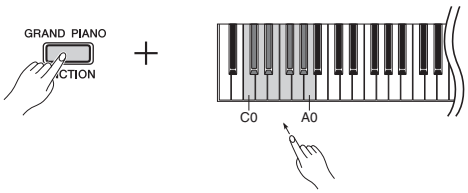
音色を選ぶ

グランドピアノの音で演奏する

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押します。いつでもグランドピアノの音で演奏できます。

他の音色で演奏する

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押しながら、C0〜A0鍵盤のどれかを押します。各鍵盤に割り当てられた音色は以下の表をごらんください。



音色リスト

鍵盤	音色名	音色紹介
C0	GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	フルコンサートグランドピアノからサンプリングしました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
C#0	GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	ブライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
D0	E. PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
D#0	E. PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
E0	PIPE ORGAN 1 (パイプオルガン1)	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
F0	PIPE ORGAN 2 (パイプオルガン2)	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカプラーの音です。
F#0	STRINGS (ストリングス)	広がりある弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルに向いています。
G0	HARPSICHORD 1 (ハープシコード1)	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによる音量変化はありません。
G#0	HARPSICHORD 2 (ハープシコード2)	オクターブ上の音がミックスされたハープシコードの音です。より華やかさが感じられます。
A0	VIBRAPHONE (ビブラフォン)	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。

鍵盤を弾いてみましょう。

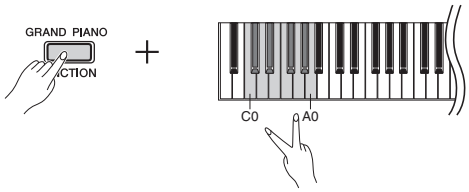
NOTE

- 各音色の特徴がよくわかる、音色ごとのデモソングが用意されています。(16ページ)
- オクターブを上げたり下げたりすることができます(次項目参照)。

2つの音色を重ねる(デュアル)

鍵盤を弾いたときに同時に2つの音色を重ねて鳴らします(デュアル)。

1 [GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、C0〜A0鍵盤のうち2つの鍵盤を同時に押してデュアルに入ります。

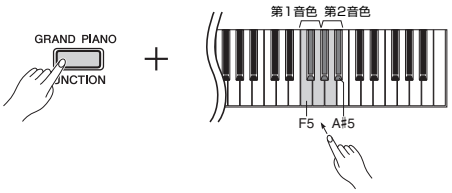


上記の設定で選んだ2つの音色のうち、左側の鍵盤に割り当てられた音色が第1音色、右側の鍵盤に割り当てられた音色が第2音色になります。

2 デュアルを解除するには[GRAND PIANO/FUNCTION]を押します。

各音色のオクターブを上げる/下げる

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままF5〜A#5鍵盤のどれかを押します。

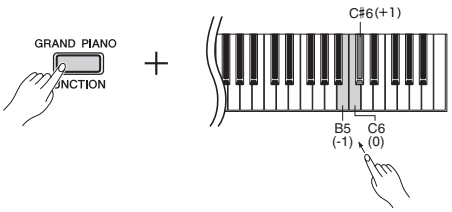


第1音色	F5	−1
	F#5	0
	G5	+1

第2音色	G#5	−1
	A5	0
	A#5	+1

2音色の音量バランスの設定

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままB5〜C#6鍵盤のどれかを押します。B5で1ずつ減り、C#6で1ずつ増え、C6で0(同音量)になります。設定範囲は−6〜+6で、値が大きいほど第1音色の音量が大きくなります。



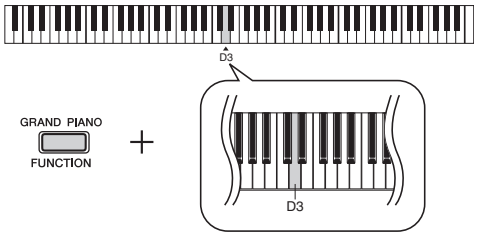
本編

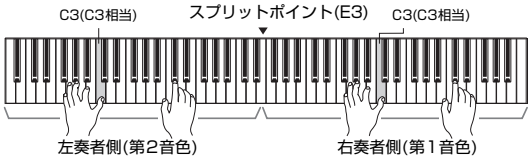
二人で一緒に弾く(デュオ)

鍵盤を左右に分けて、同時に二人が同じ音域で演奏できます。1台の楽器で二人同時に練習したり、生徒と並んで座り、お手本を見せながら指導できます。

1 [GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままD3鍵盤を押します。

E3がスプリットポイントとなり、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれます。





NOTE
- デュオのスプリットポイントはE3から変更できません。
- デュアルがオンの状態で、デュオに入るとデュアルは解除されます。音色は第1音色になります。
- 音色を変えるとデュオは解除されます。

2 左側鍵域と右側鍵域に分かれて、2人で演奏しましょう。

左側で弾いている音は、左のスピーカーから、右側で弾いている音は、右のスピーカーから出ます。

3 デュオを解除するには、[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、もう一度D3鍵盤を押します。

各音色のオクターブを上げる/下げる

デュアルと同じです。(→12ページ)

デュオ機能でのペダル効果

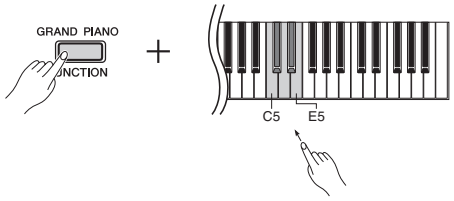
SUSTAIN端子に接続したフットスイッチの効果は、左右両方にかかります。

音に残響を付ける(リバーブ)

演奏音に、コンサートホールで弾いたような残響音(リバーブ)を加えます。音色を選ぶと、その音色に最適なリバーブが自動的に設定されますが、自分でリバーブの種類(リバーブタイプ)や深さを設定できます。

リバーブタイプの設定

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままC5〜E5鍵盤のどれかを押して、リバーブのタイプを選びます。



リバーブタイプリスト

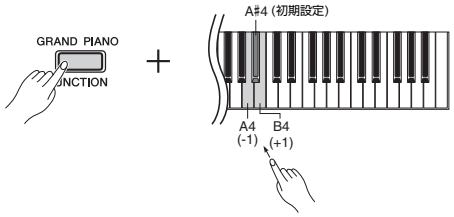
鍵盤	リバーブタイプ	説明
C5	ルーム	狭い部屋の中にいるような響き。
C#5	ホール1	小さいコンサートホールにいるような響き。
D5	ホール2	大きいコンサートホールにいるような響き。
D#5	ステージ	ステージにいるような響き。
E5	オフ	リバーブはかかりません。

NOTE
- デュアルの場合、第1音色のリバーブタイプが優先されます。ただし第1音色のリバーブがOFFの場合は第2音色が有効となります。

リバーブの深さの設定

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままA4〜B4鍵盤を押します。A4で1ずつ減り、B4で1ずつ増え、A#4で初期設定に戻ります。値が大きいほど効果は深くなります。

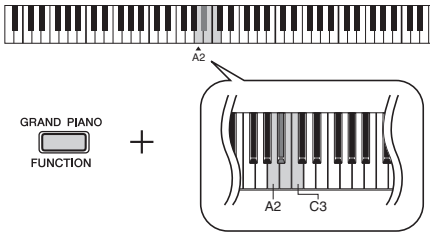
初期設定:現在の音色に最適な深さ
設定範囲:0(効果なし)〜10



本編

タッチ感度を変える

鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方(タッチ感度)を設定します。(鍵盤の重さ自体は変わりません。)
[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままA2〜C3鍵盤のどれかを押して、タッチ感度を選びます。



タッチ感度リスト

鍵盤	タッチ感度	説明
A2	フィックス(固定)	タッチの違いによる音の強弱は付かず、一定の音量で鳴ります。
A#2	ソフト	軽いタッチで大きい音を出すことができます。
B2	ミディアム	標準的なタッチ感度です。(初期設定)
C3	ハード	強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。

NOTE
- パイプオルガン、ハープシコードの音色ではタッチによる音の強弱は付きません。

キー(調)を変える(トランスポーズ)

鍵盤を弾いたときの発音を、半音単位で上げたり下げたりする(移調)機能です。弾く鍵盤を変えずに、他の楽器や歌う人のキー(調)に合わせることができます。たとえばトランスポーズを「+5」に設定した場合は、「ド(C)」の鍵盤を弾いたときに「ファ(F)」の音が出ます。つまり「ハ長調」の弾き方で「ヘ長調」の演奏になります。

設定範囲:−6〜0〜6

キーを下げる(実際の鍵盤よりも低い音を出す)

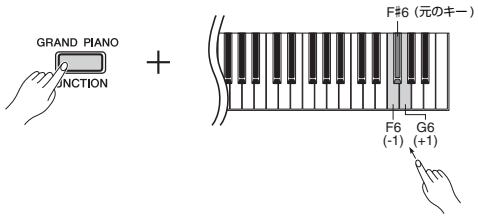
[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままF6鍵盤を押すごとに、半音単位(−1)でキーが下がります。

キーを上げる(実際の鍵盤よりも高い音を出す)

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままG6鍵盤を押すごとに、半音単位(+1)でキーが上がります。

元のキーに戻す

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままF#6鍵盤を押します。



音の高さを微調整する(チューニング)

楽器全体の音の高さを微調整する機能です。他の楽器と演奏する際やCDなどに合わせて演奏する際に、音の高さを正確に合わせることができます。

設定範囲：414.8Hz～440.0Hz～466.8Hz

音の高さを下げる

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままG#6鍵盤を押すごとに、約0.2Hz刻みで下がります。

音の高さを上げる

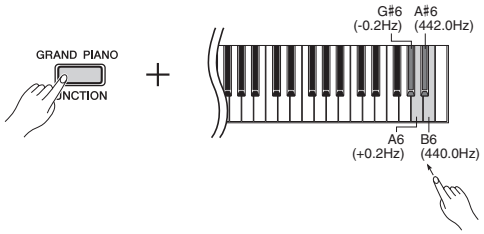
[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままA6鍵盤を押すごとに、約0.2Hz刻みで上がります。

442.0Hzに設定する

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままA#6鍵盤を押します。

440.0Hz(初期設定)に戻す

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままB6鍵盤を押します。



本編

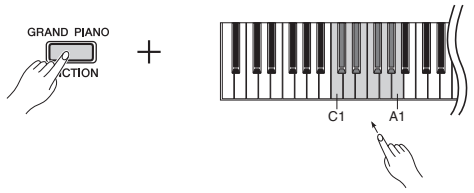
曲(ソング)を再生する

音色デモ曲を聞く

この楽器には、ピアノやオルガンといった音色ごとにその音色の特徴がよくわかるデモ曲が用意されています。

1 [GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、C1～A1鍵盤のどれかを押します。

選んだ音色デモ曲が再生されます。1曲終了すると、自動的に次のデモ曲が再生されます。



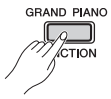
NOTE
- 音色デモ曲の再生中に音色を変更すると、再生されている曲も同時に切り替わります。

デモ曲リスト

鍵盤	音色名	曲名	作曲者
C1	GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	オリジナル	オリジナル
C#1	GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	オリジナル	オリジナル
D1	E. PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	オリジナル	オリジナル
D#1	E. PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	オリジナル	オリジナル
E1	PIPE ORGAN 1 (パイプオルガン1)	オリジナル	オリジナル
F1	PIPE ORGAN 2 (パイプオルガン2)	オリジナル	オリジナル
F#1	STRINGS (ストリングス)	オリジナル	オリジナル
G1	HARPSICHORD 1 (ハープシコード1)	ガボット	J.S.バッハ
G#1	HARPSICHORD 2 (ハープシコード2)	インベンション 第1番	J.S.バッハ
A1	VIBRAPHONE (ビブラフォン)	オリジナル	オリジナル

上記デモ曲は、原曲を編集/抜粋したものです。その他のデモ曲は、ヤマハのオリジナルです。(©2014 Yamaha Corporation)

2 再生を止めるには[GRAND PIANO/FUNCTION]を押します。



再生中のテンポの変更

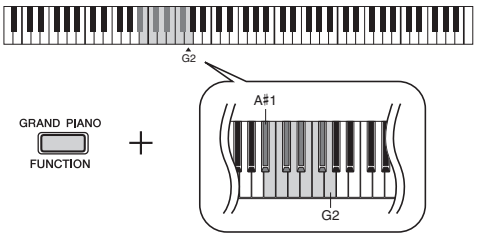
メトロノームの「テンポ設定」と同じです。(→17ページ)

ピアノ曲を聞く

この楽器には、デモ曲のほかにピアノ10曲の演奏データが入っています。聞いてみましょう。

1 [GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、A#1～G2鍵盤のどれかを押します。

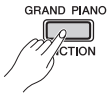
選んだピアノ曲が再生されます。1曲終了すると、自動的に次のピアノ曲が再生されます。



ピアノ曲リスト

鍵盤	No.	曲名	作曲者
A#1	1	メヌエット ト長調 BWV.Anh.114	J.S.バッハ
B1	2	トルコ行進曲 (ピアノ ソナタ 第11番 K.331より)	W.A.モーツァルト
C2	3	エリーゼのために	L.v.ベートーヴェン
C#2	4	小犬のワルツ	F.F.ショパン
D2	5	トロイメライ	R.シューマン
D#2	6	人形の夢と目覚め	T.オースティン
E2	7	アラベスク	J.F.ブルグミュラー
F2	8	ユーモレスク	A.ドヴォルザーク
F#2	9	エンターテイナー	S.ジョプリン
G2	10	亜麻色の髪の乙女	C.A.ドビュッシー

2 再生を止めるには[GRAND PIANO/FUNCTION]を押します。



再生中のテンポの変更

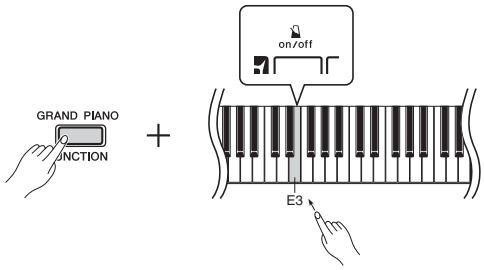
メトロノームの「テンポ設定」と同じです。(→17ページ)

本編

メトロノームを使う

メトロノームは、正確なテンポで練習するときに便利な機能です。

1 [GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、E3鍵盤を押すとメトロノームがスタートします。



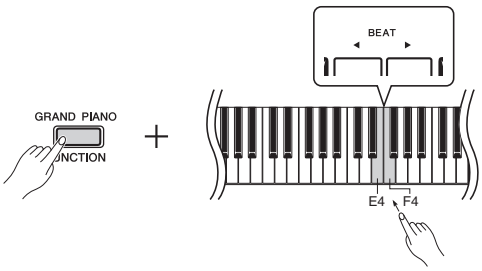
2 もう一度[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、E3鍵盤を押すとメトロノームがストップします。

NOTE

・[GRAND PIANO/FUNCTION]を押すだけでもメトロノームはストップしますが、その場合、鍵盤の音色はグランドピアノ1に変わります。

拍子の設定

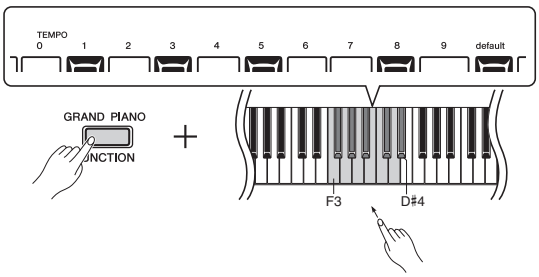
[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままE4またはF4鍵盤を押して拍子を設定します。
F4鍵盤を押すごとに、0、2、3、4、5、6の順に拍子が多くなります。E4鍵盤を押すごとに、拍子は少なくなります。拍子を0以外に設定すると、1拍目にベル音が鳴ります。
初期設定は、拍子なし(0)で、すべてクリック音が鳴ります。



テンポ設定

メトロノームや、ソングのテンポを設定します。以下の鍵盤には、それぞれ数字が割り当てられています。
[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、F3〜D4鍵盤のどれかを押して、3桁の数字を設定します。たとえば、テンポを95に設定したい場合は、[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままF3(0)→D4(9)→A#3(5)の順番で鍵盤を押します。

初期設定(メトロノーム)：120
設定範囲：32〜280



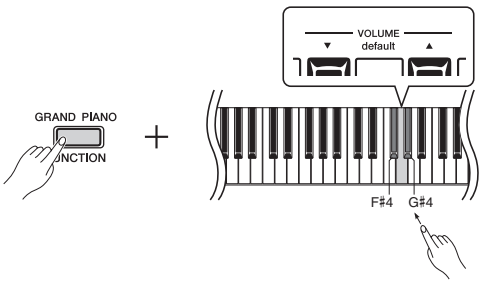
初期設定のテンポに戻す

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したまま、D#4鍵盤を押すと、テンポは初期設定に戻ります。

メトロノームの音量の設定

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままF#4〜G#4鍵盤のどれかを押します。
F#4鍵盤を押すごとに、音量が1ずつ小さくなり、G#4鍵盤を押すごとに、音量が1ずつ大きくなります。
G4鍵盤を押すと、初期設定に戻ります。

初期設定：10
設定範囲：1〜20



本編

他の機器と接続する

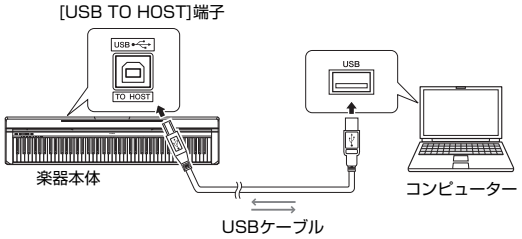
⚠注意
- 他の機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入/切する前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

iPhone/iPadと接続する

iPhoneやiPadのアプリケーションと楽器を一緒に使えば、さまざまな楽しい機能が使えるようになり、可能性が広がります。接続については、ヤマハのウェブサイト上(4ページ)の「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

コンピューターと接続する

USBケーブルを使って楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続すると、コンピューター用の音楽ソフトを楽しむことができます。コンピューターとの接続方法やデータの転送方法など、詳しくはヤマハウェブサイト上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。



NOTE
- USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。

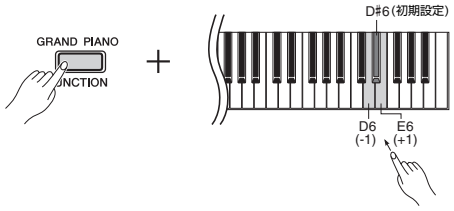
MIDIの設定

MIDI送信チャンネルの設定

MIDI楽器どうしで、演奏情報を送受信するためには送信側と受信側でMIDIチャンネル(1～16チャンネル)を合わせておく必要があります。ここでは、この楽器からMIDIデータを送信するときのチャンネルを設定します。

[GRAND PIANO/FUNCTION]を押したままD6～E6鍵盤のどれかを押します。
D6鍵盤を押すごとに、送信チャンネルが1ずつ下がり、E6鍵盤を押すごとに、送信チャンネルが1ずつ上がります。D#6鍵盤を押すと、初期設定になります。

初期設定：1
設定範囲：1～16



NOTE
- デュアルの場合、第1音色は、ここで設定したチャンネルで送信されます。第2音色は、ここで設定したチャンネルの次のチャンネルで送信されます。
- デモ曲/ピアノ曲の再生データはMIDI送信されません。

その他のMIDI設定

その他のMIDI設定は、次のように設定されています。設定の変更はできません。

■MIDI受信チャンネルの設定
..... ALL(1～16チャンネルすべて)
■ローカルコントロールオン/オフの設定 ..... オン
■プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定 ..... オン
■コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定 ..... オン

本編

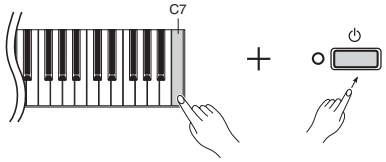
バックアップと初期化

以下の設定やデータは自動的にバックアップされるので、電源を切っても消えません。

バックアップデータ
オートパワーオフ機能、チューニング、タッチ感度、鍵盤操作音オン/オフ、メトロノームの音量/拍子の設定

バックアップデータを初期化する

バックアップデータを工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」といいます。
C7(右端の鍵盤)を押したまま[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れると、初期化されます。



初期化実行中は電源ランプが点滅します。

注記
- **初期化実行中は電源を切らないでください。**

NOTE
- 本機が正常に動作しない場合、初期化を試してみてください。

本編

困ったときは

現象	原因と解決方法
電源が入らない。	電源アダプターは正しく接続されていますか。電源アダプターを本体とコンセントに確実に差し込んでください。(→10ページ)
電源が自動的に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を無効にしてください。(→10ページ)
スピーカー /ヘッドフォンから雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使用していませんか。携帯電話の電源を切るか楽器から離れて使用してください。
iPhone/iPad/iPod touchのアプリケーションと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音(ノイズ)が出る。	iPhone/iPad/iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPad/iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	[MASTER VOLUME]スライダーが下がっていませんか。上げてみてください。(→11ページ)
	[PHONES]端子にヘッドフォン、または変換アダプターが接続されていませんか。(→11ページ)
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[SUSTAIN]端子に確実に接続されているか確認してください。(→11ページ)
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。(フットスイッチを踏むと音がカットされ、離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたため、フットスイッチの極性が逆になっています。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
鍵盤を弾くと、機械音がカタカタ鳴る	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機械音は実際に出ているものです。異常ではありません。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	異常ではありません。ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。

資料

仕様

寸法[幅×奥行き×高さ]
・1,326 × 295 × 154 (mm)

質量
・11.5 kg

鍵盤
・88鍵(A-1～C7)
・グレードハンマースタンダード(GHS)鍵盤　黒鍵マット仕上げ
・タッチ感度：ハード/ミディアム/ソフト/フィックス

音源/音色数
・音源：AWMステレオサンプリング
・最大同時発音数：64
・プリセット音色数：10

効果/機能
・リバーブ：4種類
・デュアル、デュオ

内蔵ソング
・音色デモ曲：10
・ピアノ曲：10

ファンクション
・メトロノーム
・テンポ：32～280
・トランスポーズ：－6～0～+6
・チューニング：414.8Hz～440.0Hz～466.8Hz

接続端子
・DC IN (12V)端子、PHONES端子(標準ステレオ)、SUSTAIN端子、USB TO HOST端子

アンプ出力
・6 W ×2

スピーカー
・12cm ×2

電源
・電源アダプター：PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品
・消費電力：6 W (電源アダプター PA-150B使用時)
・オートパワーオフ機能

付属品
・保証書、取扱説明書(本書)、電源アダプター (PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品)、フットスイッチ、譜面立て、製品ユーザー登録のご案内

別売品
・ヘッドフォン(HPE-30/HPE-150)、フットペダル(FC3A)、フットスイッチ(FC4A/FC5)、キーボードスタンド(L-85)、電源アダプター (PA-150Aまたはヤマハ推奨の同等品)、iPhone/iPad/iPod touch用USB MIDIインターフェース(i-UX1)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

I
iPhone/iPadと接続する..... 18

M
MIDIの設定..... 18

お
オートパワーオフ機能 10
音色デモ曲..... 16
音色リスト..... 12
音色を選ぶ..... 12
音量を調節する..... 11

き
キー (調)..... 14

く
クイックオペレーションガイド..... 22

こ
困ったときは..... 20
コンピューターと接続する 18

し
仕様 20
初期化 19

せ
専用スタンド..... 9

そ
操作音 11

た
タッチ感度..... 14
タッチ感度リスト..... 14

ち
チューニング..... 15

て
デモ曲リスト..... 16
デュアル..... 12
デュオ 13
電源アダプター..... 10
電源を入れる/切る 10
電子マニュアル (PDF形式)..... 4
テンポ設定..... 16, 17

と
トランスポーズ..... 14
取扱説明書..... 4

は
ハーフペダル機能..... 11
バックアップ..... 19

ひ
ピアノ曲..... 16
ピアノ曲リスト..... 16
拍子の設定..... 17

ふ
付属品 4
フットスイッチ..... 11
フットペダル..... 11
譜面立て 4

へ
ヘッドフォンを使う 11

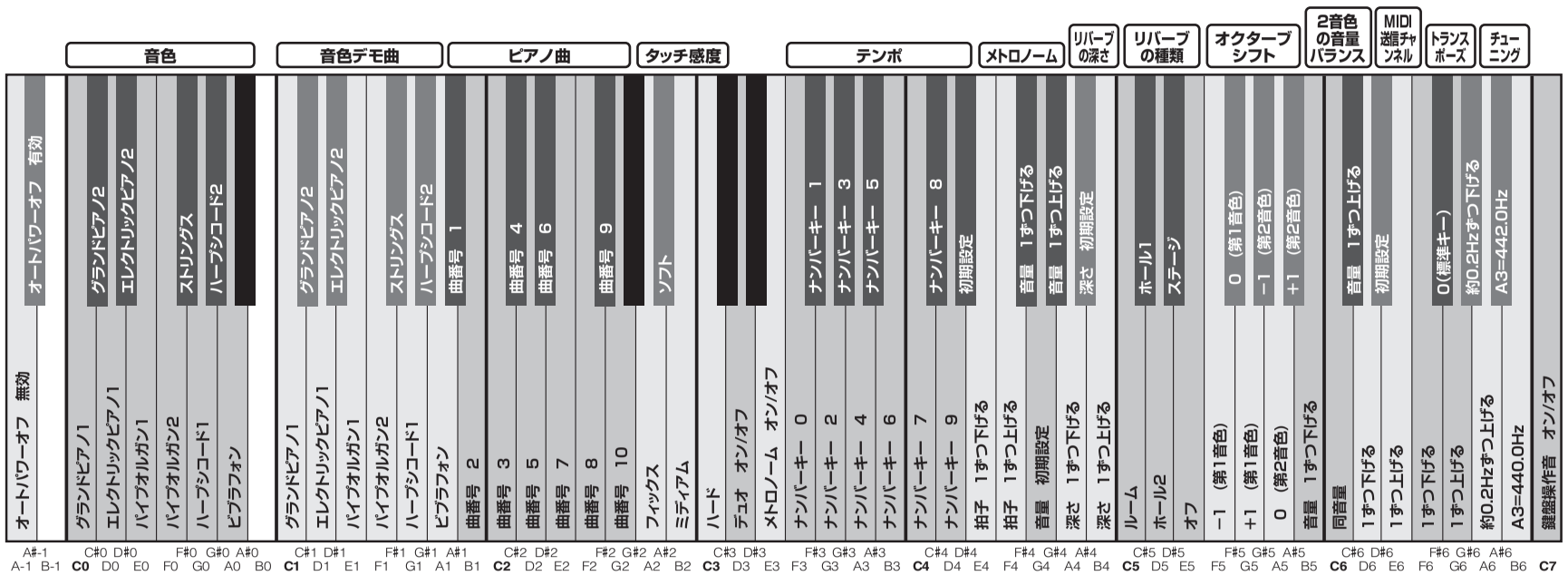
め
メトロノームを使う 17

り
リバーブ.....13
リバーブタイプリスト 13

資料

クイックオペレーションガイド

[GRAND PIANO/FUNCTION（グランドピアノ/ファンクション）]を押したまま、グレーの鍵盤のどれかを押して、曲を選んだり値を設定したりします。



資　料

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、または下記の修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証書**
  本機には保証書がついています。
  保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- **保証期間**
  保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**
  保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
  修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
  有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。
  有寿命部品の交換は、お買い上げ店または下記の修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例
ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパットなど

- **補修用性能部品の最低保有期間**
  製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。
- **修理のご依頼**
  まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
  それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。
- **製品の状態は詳しく**
  修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

修理ご相談センター

フリーダイヤル **0120-149-808**

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4106**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
（祝日、センター指定休日を除く）

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125
西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/北陸) 06-6649-9340

◆ 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 （祝日、センター指定休日を除く）
* お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F FAX 03-5762-2125
西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル 7F FAX 06-6649-9340

◆ 電子ピアノの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記のお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

フリーダイヤル **0120-139-808**

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4079**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
（祝日、センター指定休日を除く）

https://jp.yamaha.com/support/

ヤマハ楽器音響製品お客様サポートLINE公式アカウント

受付 月曜日～金曜日 10:00～16:00
（祝日、センター指定休日を除く）

ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

資料

ヤマハ株式会社

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ	https://jp.yamaha.com/
ヤマハ ピアノ・電子ピアノサイト	https://jp.yamaha.com/piano/
ヤマハ サポート・お問い合わせ	https://jp.yamaha.com/support/
ヤマハミュージックデータショップ	https://yamahamusicdata.jp/

© 2014 Yamaha Corporation
2024年12月 発行
KSTY-C0

ZP89490